

# 第1学年3組 図画工作科学習指導案

指導者 高松市立弦打小学校 松本 泉

主張点

自由な発想でつくった作品を見せ合ったり、簡単な話型を使って話し合ったりする場を設けることで、かかわり合いの基礎が育つとともに、形や色のおもしろさ、美しさに気付き、つくる意欲を高めていくことができるだろう。

## 1 題材 おもしろいかたちいっぱい —— いしのへんしん

### 2 題材について

#### (1) 題材のねらい

本題材は、「材料を基に造形遊びをする活動を通して、身近な自然物の形や色などを基に思い付いてつくること」を主なねらいとしている。自然の小石や木の葉、小枝などは、見る方向や組み合わせによって、いろいろな物に見立てができるものがある。人によって見立てが異なるときもあり、友だちの見立ての発想のよさに感動したり、見方の違いに気付いたりすることにもつなげることができる。今回、中心素材とする小石は、子どもたちにとって身近に存在する物である。その小石を触ったり、興味深く見たりすることから始め、形や色から思い付いたことを基にイメージをふくらませ、つくりたい物に変身させていく。小石にクレヨンやパス、カラーペンなどで着色したり、他の自然物などを接着したりして飾ることで、より表現の幅を広げ、活動の面白さを味わうことができると考えられる。さらに、作品を鑑賞し合うなかで、自分が気付いていなかった新たな造形的な要素に気付くことも期待できる興味深い題材である。

#### (3) 主張点にせまるために

##### ① 豊かな表現活動につながる「かかわり合い」の場の工夫

小石を何かに見立て、思い付いたことを基に作品をつくり上げていく活動は、児童の想像から始まっている。そこで、導入段階では、小石をいろいろな方向から眺め、小石が何に見えるかについて友だちと話し合う時間を十分に取りたい。そうすることで、イメージしにくい児童も見立てることに慣れたり、対象をより柔軟にとらえ、想像力豊かに対象に働きかけたりすることに繋がると考えられる。作品づくりの途中では、自分の作品の話をしたり、友だちの作品のよいところを見つけたりする時間を設け、見立ての面白さや色や形の工夫に気付かせたい。

##### ② 「かかわり合い」における言語活動のための支援

作品を前にして友だちと交流するときの基本的なルールを話し合い、よく聞いて順番に話すことや、よいと思ったことや見つけた工夫を話すことができるようにさせたい。グループでの話し合いをスムーズに行うため、基本的な話型を示したり、言語表現が苦手な児童に助言したりする。また、作品のよいところを表現しやすくするため、色や形、並べ方などの視点を与えて、交流によって見つけた色や形の工夫などを次の活動に生かせるように全体の場で確認したりする。

#### 4 目 標

- ・ 石の形を見たり、置き方を変えたりしながら、いろいろな形を思い浮かべたりして楽しむ。
- ・ 石の形や色を生かしたり、着色したりして好きなものをつくる。
- ・ 材料から見つけた形に名前を付け、お互いに見せ合い話し合う。

#### 5 学習指導計画 (全 4 時間)

	学習内容	創造への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
第一次 2/ 1	・石を手に取り、ながめたりしながら思い付いたことを発表する。	・石の形や色に興味をもち、楽しくものの形に見立てようとする。	・石の形や色などの特徴に気付き、ものの形に見立てる。		
第二次 本時 2/ 1	・石を選び、着色したり組み合わせたりして、つくりたいものを作る。	・石の形や色を基に思い付いたものを楽しくつくろうとする。	・思いをふくらませ、組み合わせや付け足す材料、色などを考える。	・色や並べなど思い付いた表し方を試して、思いのままにつくる。	・石の形から見立ててつくった作品の工夫や気付いたことなどを話し合う。
第三次	・作品を鑑賞し合う。	・つくったものを飾り、進んで見て楽しもうとする。			・作品に名前を付け、飾って見たり、友だちの話を聞いたりする。

## 6 本時の学習指導

### (1)目標

- ・石の形や色を生かしたり、着色したりして、思い付いたものを作り出す。

- ・できたものやできつつあるものを見せ合い、自分の気持ちを話したり、友だちの話を聞いたりする。

### (2)本時の学習指導過程

学習活動	児童の意識の流れ	教師の支援・援助活動
1 前時を振り返り、本時の学習課題を確認する。	<p>石がいろいろなものに見えてきて、おもしろいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石を何に変身させたか当ててクイズをして、いろいろな見方ができるので、自由に楽しく見立ててつくっていけばよいということを確認する。</li> </ul>
2 石に着色したり、石や他の材料を組み合わせたりしてつくりたいものをつくる。	<p>石をすてきな○○に変身させよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色を付けるとすてきなものになりそうだ。</li> <li>・木の実や葉っぱをつけるとすてきなものになりそうだ。</li> <li>・置き方を変えるとすてきなものになりそうだ。</li> </ul> <p>・友だちは、何に変身させているのかな。 ・どんな飾りにするか、迷うなあ。 ・すてきに変身させた○○を見てもらいたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動に見通しを持たせるために、石をすてきなものに変身させるにはどんな方法があるか話し合う時間を設ける。</li> <li>・思い付いた表現活動がしやすいように、小さい石や木の実、小枝、落ち葉などを組み合わせる材料として用意しておく。</li> <li>・接着するものに合わせた接着剤を使うことを押さえ、石とものを接着するための接着剤を用意し、使い方の表示をしておく。</li> </ul>
3 作品を見せ合い、自分の作品の話をしたり、友だちの作品のよいところなどについて話したりする。	<p>見るとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何に変身させたの。 ・羽の形がおもしろいね。 ・帽子の色がきれいね。</li> </ul> <p>見せるとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、○○に変身させたよ ・工夫したところは ・うまくできたところは</li> </ul>	<p>評 石の形や色を生かしたり、着色したり、他の材料を加えたりして思い付いたものがつくれているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージがわからず、困っている児童には、対話しながら石の見立てをしたり、友だちの作品を見るように助言したりする。</li> <li>・作品を見せ合うときに、形や色に着目しながらスムーズに話し合いができるよう簡単な話型カードを用意しておく。</li> <li>・全体交流では、色や形、組み合わせ、置き方に特徴がある作品を取り上げ、工夫や思い付きのよさを共有化する。</li> </ul>
4 本時の学習を振り返り、次時の学習のめあてをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色をつけるときれいだな。 ・クレヨンの模様もすてきだな。</li> <li>・木の実で飾ると楽しくなるな。</li> <li>・石を並べるとおもしろいな。</li> </ul> <p>もっとすてきなものに変身させて、飾りたいな。</p>	<p>評 作品を見せ合い、自分の気持ちを話したり、友だちの話を聞いたりすることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの工夫や表現のよさを取り入れて作品を完成させ、飾ることを知らせ、意欲をもたせる。</li> </ul>

(3)評価 自分が思い付いた形から想像をふくらませて作品をつくり、友だちと鑑賞し合うことができたか。